

富士製薬工業

本店：東京都千代田区紀尾井町 3 番19号

---

#### 【商号履歴】

富士製薬工業株式会社（1965年 4 月 1 日～）

---

#### 【株式上場履歴】

< 東証 2 部 > 2011年 7 月11日～

< 大証 J A S D A Q > 2010年 4 月 1 日～2011年10月10日（上場廃止申請）

< ジャスダック > 2004年12月13日～2010年 4 月 1 日（取引所閉鎖）

< 店頭 > 1995年 6 月22日～2004年12月12日（店頭登録制度廃止）

---

#### 【沿革】

当社は昭和29年 4 月に、故今井精一が東京都豊島区において個人商店「富士薬品商会」を創業、医薬品の販売を開始いたしました。その後業容の拡大に伴い昭和34年 4 月に法人組織「有限会社富士製薬工業」を設立、これに併せて富山県中新川郡水橋町に注射薬工場を新設し、医療用医薬品の製造を開始いたしました。

昭和40年 4 月 医療用医薬品の製造及び販売を目的として資本金250万円で東京都足立区北鹿浜町2083番地に富士製薬工業株式会社を設立

昭和47年 2 月 整形外科向けに副腎皮質ホルモン剤「デキサン」を発売

昭和48年 7 月 名古屋市千種区に名古屋支店を開設、東京支店を設置

昭和48年10月 富山県富山市に新工場が完成し旧工場から移転

昭和48年11月 富山工場敷地内に研究棟及び配送センター完成

昭和49年 4 月 大阪市南区に大阪支店、福岡市西区に九州支店（現福岡支店）を開設

昭和49年 4 月 群馬県前橋市に前橋支店を開設（前橋支店は、昭和61年 9 月に東京支店に統合）

昭和50年10月 富山県富山市に富山支店を開設

昭和51年11月 富山工場敷地内に G M P 適合抗生剤注射薬棟完成

昭和53年 4 月 新たに抗生物質製剤を薬価基準に収載し発売

昭和54年 3 月 札幌市白石区に札幌支店を開設

昭和54年 4 月 本社を東京都足立区鹿浜一丁目 9 番11号に移転

昭和55年10月 徳島県徳島市に四国出張所を開設（昭和62年 9 月に大阪支店に統合）

昭和57年 8 月 産婦人科向けに体外診断薬を発売

昭和58年 9 月 仙台市宮城野区に仙台支店を開設

昭和59年 6 月 外皮用薬（軟膏・クリーム）を発売

平成 2 年 7 月 「注射用アピスタンディン」を発売

平成 4 年 5 月 パソコン通信による全社ネットワーク「富士製薬ネット」をスタート

平成 6 年 7 月 富山工場敷地内に注射薬（バイアル専用）棟を新築

平成 7 年 6 月 日本証券業協会に株式を店頭登録

平成 8 年 7 月 非イオン性尿路・血管造影剤「オイパロミン」を発売

平成12年 4 月 外皮用薬「エルタシン軟膏」の輸入販売を開始

平成14年 5 月 富山工場敷地内に新注射剤棟を新設、稼働開始

平成15年 7 月 本社ならびに東京支店を東京都千代田区紀尾井町に移転

平成16年12月 日本証券業協会への店頭登録を取消し、ジャスダック証券取引所に株式を上場

平成18年4月 富山工場敷地内に新錠剤工場を新設、稼動開始

平成19年7月 ノーベルファーマ株式会社と月経困難症治療薬「ルナベル錠（開発番号I K H - 0 1）」の販売に関する契約を締結